

# MICRO CADAM Helix Webセミナー

## メニュー・バー操作解説 [編集] 編

株式会社CAD SOLUTIONS  
営業本部

はじめに

---

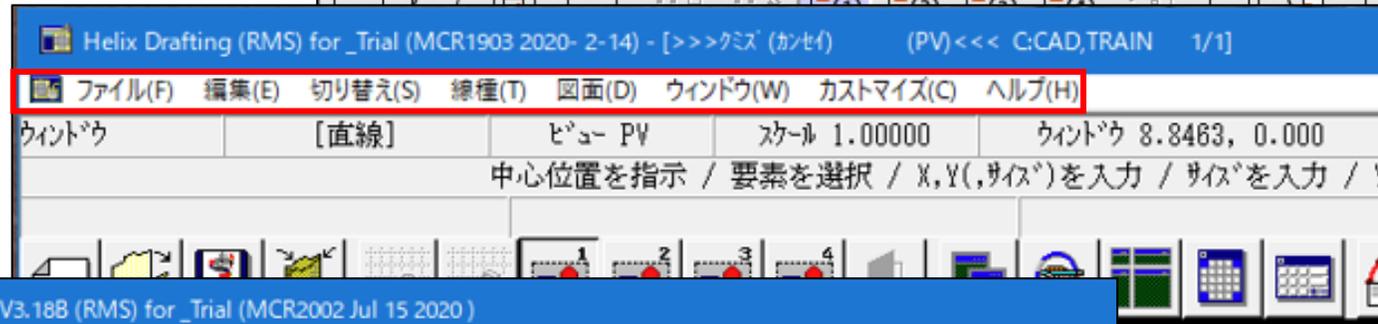
- メニュー・バーとは、ファンクション/メニューの機能を補完するためにMC V3以降に追加されたツールセットで、これまでに多くの機能拡張を行ってきました。

## バージョン別のメニュー・バー表示

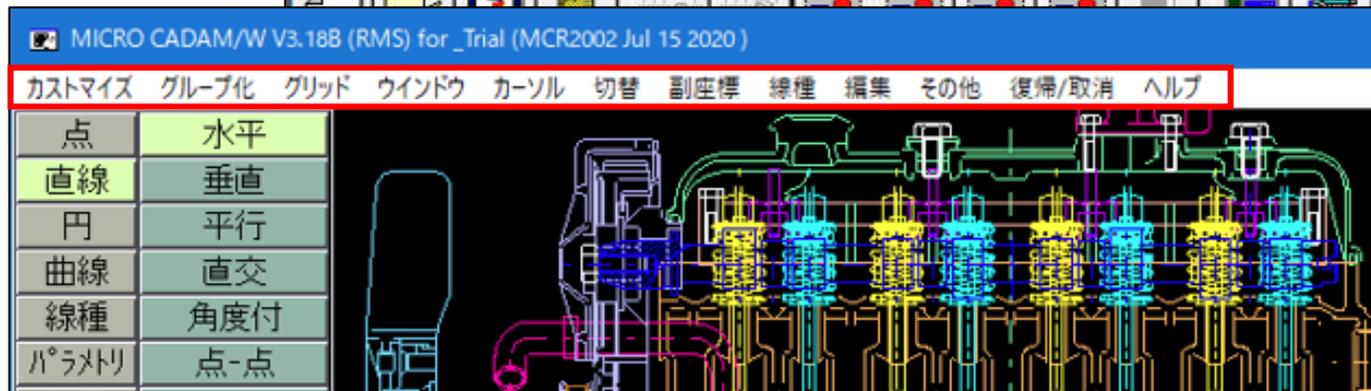
MC Helix 20xx



MC Helix V4



MC V3





新規作成(S)  
 呼び出し(A)...  
 上書き保存(V) / DXFファイルの上書き(Y) ★  
 名前を付けて保存(E)... / DXFファイルの別名保存(E)... ★  
 すべて保存(L)  
 閉じる(C)  
 すべて閉じる(O)  
 カプセル化図面呼び出し(P)...  
 画面印刷(F)  
 印刷の設定(T)...  
 印刷(D)  
 簡易出力(Y)...  
 PDF形式で保存(B) ★  
 DXF形式変換(M) ▶ MC->DXF変換(L) ★  
 DXF->MC変換(N)  
 ログオフ(G)  
 終了(X)  
 ★印の付いた機能を使用するには、ライセンスが必要です。

図形複写(ビットマップ)(B) ▶ クリップボード(カラー)(C)...  
 ▶ クリップボード(モノ)(L)...  
 ▶ ファイル(カラー)(F)...  
 ▶ ファイル(モノ)(M)...  
 図形複写(メタファイル)(M) ▶ クリップボード(カラー)(C)...  
 ▶ クリップボード(モノ)(L)...  
 ▶ ファイル(カラー)(F)...  
 ▶ ファイル(モノ)(M)...  
 注記貼り付け(N)  
 元に戻す(D)  
 やり直す(R)  
 テキストを元に戻す(U) Ctrl+Z  
 切り取り(T) Ctrl+X  
 コピー(C) Ctrl+C  
 貼り付け(P) Ctrl+V  
 削除(E) 削除  
 文字列の検索(S)...  
 図形の検索(A)...  
 ハイパーリンク(H)...  
 オブジェクト(O)...  
 リンク(L)...

**今回解説する範囲**

グリッド・ロック(G)  
 グリッド表示(S)  
 グループ1組(1)...  
 グループ2組(2)...  
 グループ3組(3)...  
 グループ4組(4)...  
 部品(P) ▶ 階層(T)...  
 ▶ トップ(T)...  
 ▶ 親(U)  
 ▶ 子(D)  
 ▶ 次(N)  
 ▶ 前(P)  
 ▶ 解除(E)  
 ▶ 解除確認(C)  
 子図(D)...  
 ビュー(V)  
 非現行ビュー色(N) ▶ 設定(S)  
 ▶ 解除(C)  
 オーバーレイ(O)  
 副座標(B)...  
 レイヤー(Y)...  
 オーバーレイ・レイヤー(L)  
 グローバル変形(B)  
 文字コード(C) ▶ 自動(A)...  
 ▶ 日本語(J)...  
 ▶ 中国語(C)  
 ▶ 台湾語(T)  
 ▶ 韓国語(K)  
 ▶ ラテン文字1(1)  
 ▶ ラテン文字2(2)  
 ▶ キリル文字(Y)

線種1(L)...  
 線種2(L)...  
 ペン(P)...  
 カラー(C)...  
 無指定色(D)  
 システム・カラー(S)...  
 線幅(W)...  
 線幅解除(O)  
 継承モード(D)...



- ウィンドウ複写(W)
- 子図ウィンドウを開じる(O)
- 状態保存(S)
- 状態復元(L)
- 自動状態保存(U)
- 再表示(P)
- 図面の再表示(D)
- 全図面の再表示(A)
- 重複表示(S)
- 重複要素の確認(O)
- 表示範囲の変更(R)...
- 拡大表示(Z)...

- タイル・キープ表示(K)
- タイル表示(T)
- カスケード表示(O)
- アイコン整列(A)
- 標準サイズ(O)
- ファンクション・ボックス(F)...
- スマートガイド・ボックス(S)...
- <ウィンドウ>ボックス(W)...
- メッセージ・ボックス(M)...
- レイヤー・ボックス(L)...
- 変数ボックス(V)...
- 線種ボックス(Y)...
- 1 >>>
- .
- ・ (図面ウィンドウのリスト)
- .
- Q

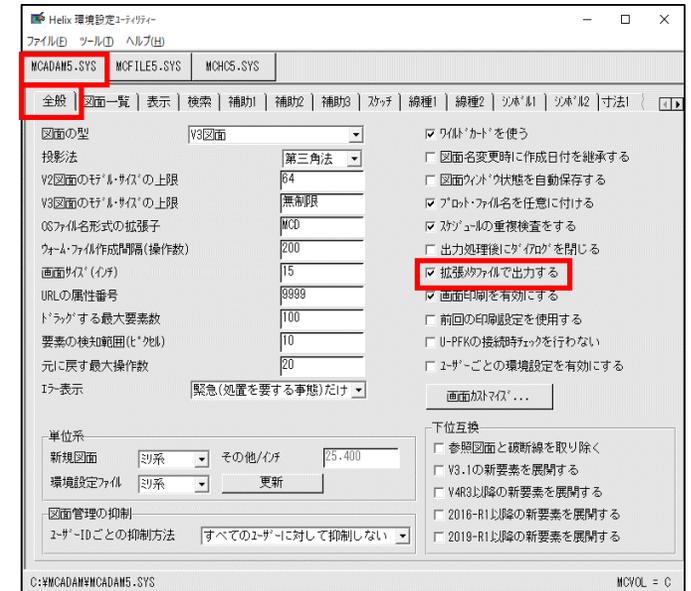
- カーソル(C)
  - ▶ 十字(C)
  - 全画面(F)
  - 小十字(S)
  - 矢印(A)
  - 小四角(Q)
  - プラットフォーム(P)
- マウス(M)...
- キーボード(K)...
- 図面選択(W)
  - ▶ シングルクリック(S)
  - ダブルクリック(D)
- スマートガイド(G)
- スマートハイライト(H)
- スマートストレッチ(S)
- スマートアシスト(A)
- スマートメニュー(P)
- ラバーバンド表示(B)
- 座標値表示(O)
- 配置子図要素選択(I)
- ファンクション(F)...
- メニュー(N)...
- メッセージ(E)...
- 図面ウィンドウ(D)...
- New Look(J)...
- 文字入力方法(T)
  - ▶ 間接入力(T)
  - 同時入力(D)
  - 直接入力(O)
  - 入力域(K)
- 環境設定再読み込み(L)
- 環境設定ファイル(S)...
- ユーザーボタン定義(B)...
- イベントスタック(V)
  - ▶ 実行(E)...
  - 直ちに実行(X)
  - 記録(R)...
- VBコード作成(X)

- オンライン・ヘルプ(O)...
- チュートリアル(T)...
- ヘルプ・ボックス(B)...
- ログ収集(S)...
- 起動状況(O)...
- バージョン情報(A)...

## メニュー・バー [編集] 解説

---

メインメニュー	サブメニュー	解説
図形複写 (ビットマップ) (B) (注-1)	クリップボード (カラー) (C)...	データをカラーで写し取り、クリップボードに出力します
	クリップボード (モノ) (L)...	データをモノクロで写し取り、クリップボードに出力します
	ファイル (カラー) (F)...	データをカラーで写し取り、ファイルに出力します 拡張子は~.BMPです
	ファイル (モノ) (I)...	データをモノクロで写し取り、ファイルに出力します 拡張子は~.BMPです
① 図形複写 (メタファイル) (M) (注-1)	クリップボード (カラー) (C)...	データをカラーで写し取り、クリップボードに出力します
	クリップボード (モノ) (L)...	データをモノクロで写し取り、クリップボードに出力します
	ファイル (カラー) (F)...	データをカラーで写し取り、ファイルに出力します 環境設定ファイルMCADAM5.SYSの設定により、出力ファイルの拡張子は変わります  [ <input type="checkbox"/> 拡張メタファイルで出力する] の場合： ⇒メタファイル (~.WMF) [ <input checked="" type="checkbox"/> 拡張メタファイルで出力する] の場合： ⇒拡張メタファイル (~.EMF)
	ファイル (モノ) (I)...	データをモノクロで写し取り、ファイルに出力します 拡張子はカラー出力と同様です



(注-1) Windows OSが提供しているクリップボードには、データの種類ごとに保存できる専用の箱が用意されています。(例：テキストデータ、画像データ、図形データなど)

図形複写の機能ではビットマップ用、Windowsメタファイル用、拡張メタファイル用のクリップボードが使用されます。

メインメニュー	サブメニュー	解説
注記貼り付け(N)		<p>FK&lt;注記&gt;で注記文字を入力する際、クリップボードに保管されている文字情報を&lt;注記&gt;の文字入力域に貼り付けることができます</p> <p>メニューバー [カスタマイズ] → [文字入力方法] の設定が「間接入力」「同時入力」「直接入力」の場合、注記入力時に表示される [文字の入力] ダイアログ内に「注記貼付」メニューをご利用ください</p> <p>このメニューは [文字入力方法] が「入力域」に設定されている場合に有効です</p> <div data-bbox="1643 368 2402 678"> </div>
元に戻す (D) (注-2)		<p>[UNDO] 入力した操作を1ステップずつ元に戻す機能です</p> <p>環境設定ファイルMCADAM5.SYSの設定で、最大数を20ステップまで指定できます</p> <p>デフォルト値は10です</p> <div data-bbox="1719 721 2402 1249"> </div>
やり直す (R) (注-2)		[REDO] 元に戻した操作を1ステップずつやり直します

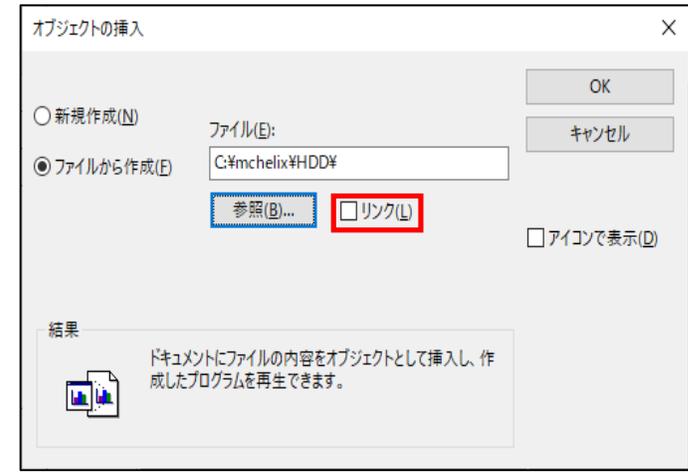
②

(注-2) MC Helix 2020-R1からは [ツールバー] にUNDO/REDOアイコンが標準で追加されました。

メインメニュー	サブメニュー	解説
テキストを元に戻す(U) (注-3)		直前に行った [切取] [コピー] [貼付] [削除] の操作を取り消します
切り取り(I) (注-3)		指定された文字列を切り取り、クリップボードに保管します
コピー(C) (注-3)		指定された文字列をコピーし、クリップボードに保管します
貼り付け(P) (注-3)		クリップボードに一時的に保管されている文字列を文字入力域に取り込みます
削除(E) (注-3)		指定された文字列を削除します
③ 文字列の検索(S)...		<p>図面内の文字を検索します MC図面の中から指定した文字の検索ができ、一括して置換も可能です 検索した結果をCSVファイルで出力することもできます</p> 
④ 図形の検索(A)...		<p>図面内の図形を検索します MC図面の中から、円の半径や円弧長を指定して検索することができます 配置子図の子図番号や子図名称を指定した検索も可能です 円については一括してサイズを変更することもできます</p> 

(注-3) 文字入力の方法をメニューバー [カスタマイズ] → [文字入力方法] → 「入力域」に設定している場合に有効な機能です。

	メインメニュー	サブメニュー	解説
⑤	ハイパーリンク(H)...		URLを設定・編集できます MC図面の中に記載された購入部品名にリンク情報を付けたりすることができます
⑥	オブジェクト(O)...		OLEオブジェクトを図面内に取り込むことができます たとえば、製品の諸元表のExcelデータをオブジェクトとしてMC図面に貼り付けることができます 1つの図面に15個まで保存できます
	リンク(L)...		OLEオブジェクトへのリンクを設定し、リンク・オブジェクトを作成します オブジェクト挿入時に [□リンク] にチェックを付けるとこのメニューが有効になります



# メニュー解説①：図形複写（メタファイル）

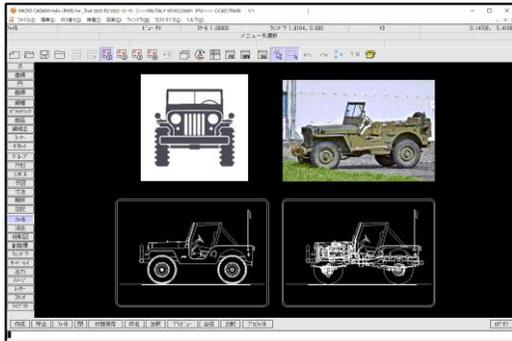
## ● クリップボード出力

- MC Helixで呼び出している図面データや、図面に取り込んだラスターデータをクリップボードに出力できます。
  - ✓ カラー出力とモノクロ出力があります。
  - ✓ クリップボードにコピーされた時点でデータの持ち方が違います。メタデータとして図面データを切り取りたい場合はこのメニューを使用します。

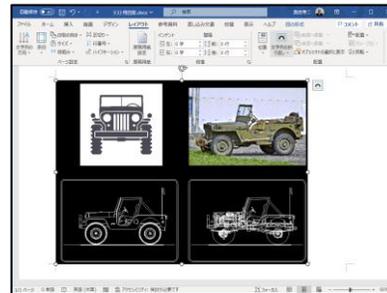
## ● ファイル出力

- MC Helixで呼び出している図面データや、図面に取り込んだメタファイルデータをファイルに出力できます。
  - ✓ カラー出力とモノクロ出力があります。
- 出力するファイルの拡張子は、メタファイルは.WMF、拡張メタファイルは.EMFです。
  - ✓ 環境設定ファイル（MCADAM5.SYS）で指定できます。

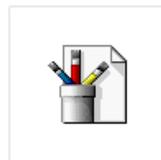
ラスターデータ付きのMC図面



メタデータとして  
クリップボードに  
出力



ファイル  
に出力



環境設定ファイル（MCADAM5.SYS）



## メニュー解説②：元に戻す（UNDO）

### ● 対象となる操作

- 操作によって生じる図面状態の変更を元に戻す機能です。
- 以下のような図面に変更が生じない操作は対象外となります。
  - ✓ ファンクションやメニューの選択
  - ✓ 新しく要素を作成するときの標準となる値の変更
  - ✓ グリッドの表示、不表示
  - ✓ ウィンドウ状態の設定、設定解除
  - ✓ システム・カラーの定義
  - ✓ レイヤー定義中の操作
  - ✓ 要素プロパティーでの操作

### ● 元に戻せる操作数

- 環境設定ファイル（MCADAM5.SYS）で最大20まで設定できます。
  - デフォルト値は10です。
- （注）最大値を超える値を設定するとデフォルト値が設定されます。

（参考）MC Helix 2020-R1からは【ツールバー】にUNDO/REDOアイコンが標準で追加されました。



### 環境設定ファイル（MCADAM5.SYS）

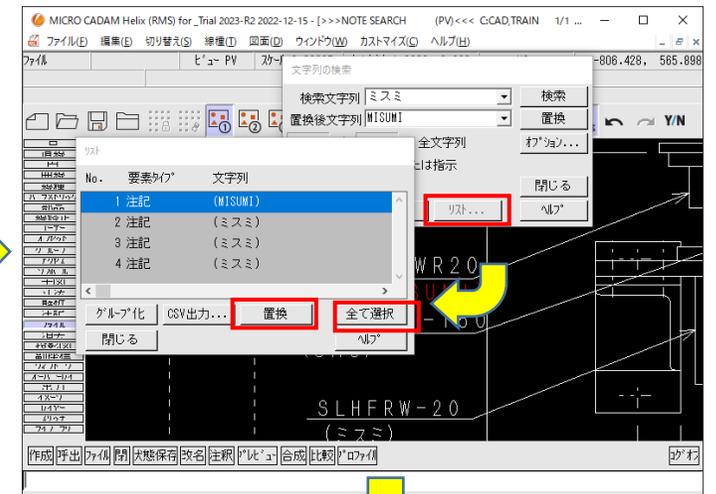
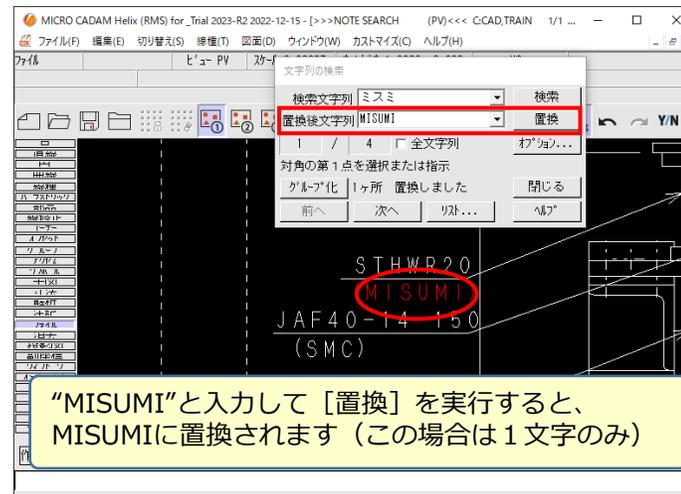
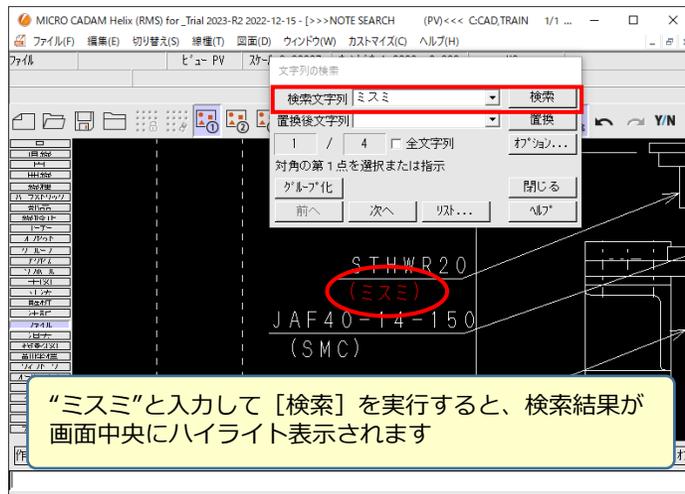


# メニュー解説③：文字列の検索（1/2）

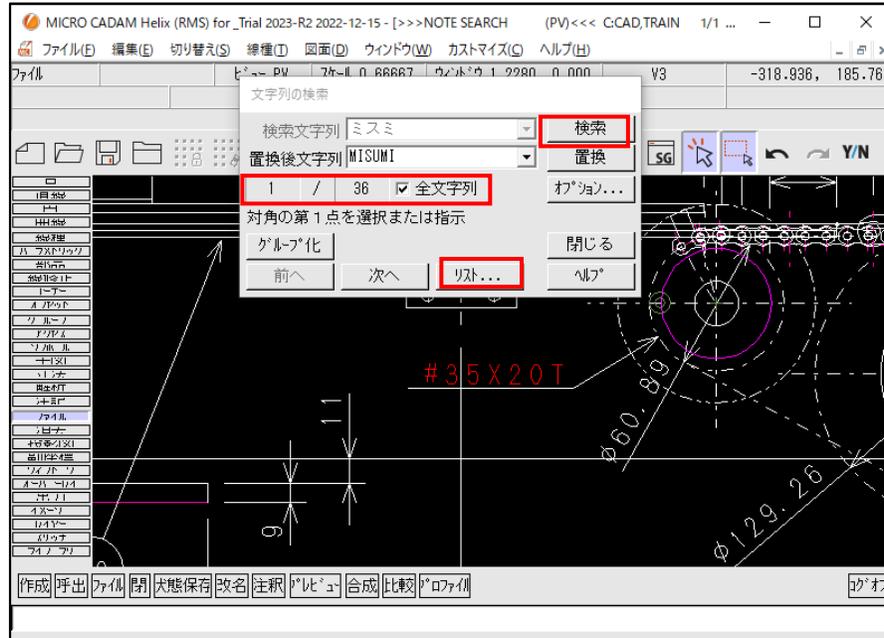
## ● 文字列検索の機能

- 指定した範囲（全体または一部）から特定の文字列を検索する機能です。
- 検索した文字の置き換えや、文字列のCSVファイル出力等が可能です。

### 【文字検索と置換】



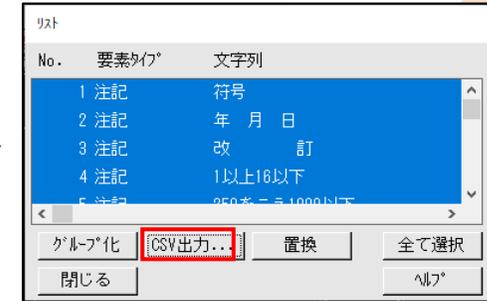
## 【全文字列検索とCSV出力】



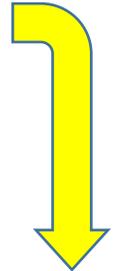
☑全文字列で [検索] を実行すると、図面内のすべての文字が検索されます



[リスト] ですべての文字がリストされたダイアログが表示されます



[全て選択] ですべての文字が選択されます



自動保存 [CSV出力] でCSVファイルに出力できます

	A	B	C
1	1	注記	符号
2	2	注記	年 月 日
3	3	注記	改 訂
4	4	注記	1以上16以下
5	5	注記	250をこえ1000以下
6	6	注記	16をこえ63以下
7	7	注記	63をこえ250以下
8	8	注記	±0.2
9	9	注記	±0.3
10	10	注記	±0.5
11	11	注記	±0.8
12	12	注記	±1.0
13	13	注記	±1.5
14	14	注記	±2.0
15	15	注記	±2.5
16	16	注記	1000をこえ2000以下

## メニュー解説④：図形の検索（1/3）

## ● 図形検索の機能（検索タブ）

## ➤ 円/円弧検索

➤ 指定した半径の円/円弧、指定した長さの円弧長を持つ円/円弧を検索できます。

図形の検索

検索 | 円変更 |

検索ビュー  
● 現行ビュー ● 全てのビュー

検索対象要素(要素SELで情報取込)

円 ● 半径 ○ 円弧長 2.0000

許容誤差 0.001000

配置子図 ● 子図番号 ○ 子図名

グループ化 | グループ化は他で使用中です

要素数 0 検索

閉じる ヘルプ

【図面中の円や円弧を選択した場合】  
● 半径：半径の値が表示されます  
● 円弧長：円弧の長さの値が表示されます

・ 情報取得の場合：取得された値が表示されます  
・ 検索の場合：ここに入力した値で検索されます

ここに値を入力することで「検索」実行時に幅を持たせた検索ができます

検索対象要素が円または円弧の場合にチェックを付けます

## ● 図形検索の機能（検索タブ）

### ➤ 配置子図検索

➤ 指定した子図番号や子図名の配置子図を検索できます。

図形の検索

検索 円変更

検索ビュー  
● 現行ビュー ● 全てのビュー

検索対象要素(要素SELで情報取込)  
 円 ● 半径 ○ 円弧長 5.0000  
許容誤差 0.000000

配置子図  
● 子図番号 1  
○ 子図名 AIR HOLE

グループ化 グループ化は他で使用せず  
要素数 0 検索

閉じる ヘルプ

【図面中の配置子図を選択した場合】

- 子図番号：子図番号が表示されます
- 子図名：子図名が表示されます

検索対象要素が配置子図の場合にチェックを付けます  
指定した子図番号または子図名で検索します

# メニュー解説④：図形の検索（3/3）

## ● 図形検索の機能（円変更タブ）

### ➤ 円の変更

➤ 円／円弧を検索し、検索した円／円弧の半径値を変更できます。

現在選択されている円（現）の半径を（新）の値に変更します

図形の検索

検索 **円変更**

検索し\*1-  
 現行\*1-     全ての\*1-

円検索  
 半径     許容誤差   
 中心角    

データ変更  
 半径 現  → 新

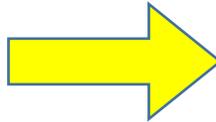
全てを更新対象にする   

前    次    0/0

検索時に対象となる要素寸法値の許容誤差を指定したり、幅を持たせた検索も可能です

検索を実行します



図形の検索

検索 **円変更**

検索し\*1-  
 現行\*1-     全ての\*1-

円検索  
 半径     許容誤差   
 中心角    

データ変更  
 半径 現  → 新

全てを更新対象にする   

前    次    1/2

変更を実行します

ここに表示されている半径の円を検索します  
 円／円弧を選択すると、選択した要素の半径値が表示されます

円弧を選択すると中心角が表示されます

「全てを更新対象にする」にチェックすると、  
 現在選択されている全ての円を変更します

# メニュー解説⑤：ハイパーリンク（1/2）

## ● 基本的な機能

- 要素にURLリンクを設定できます。例えば、メーカー部品名注記の属性情報としてメーカーリンクを設定すると便利です。

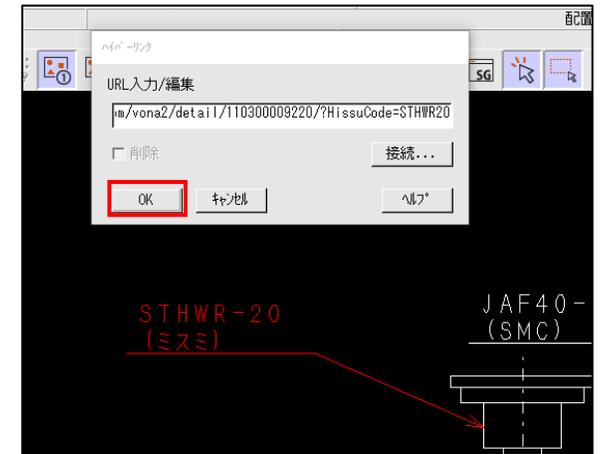
### 【ハイパーリンクの設定】



リンク情報のURLをコピーします

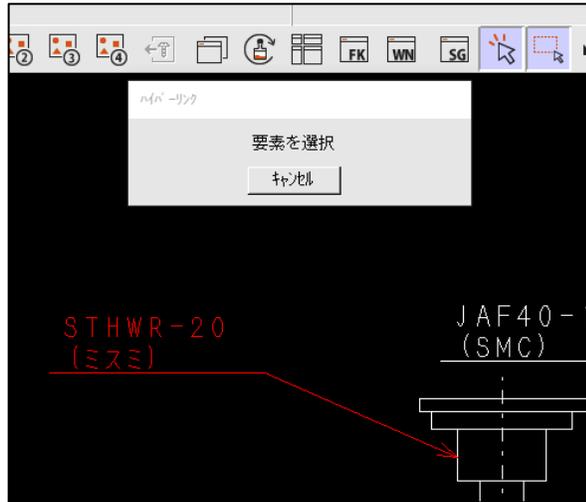


URL情報を設定する要素を選択します



【ハイパーリンク】ダイアログにURLをコピーし、OKをクリックすると設定が完了します

## 【リンク情報の利用】



ハイパーリンクが設定されている要素がハイライトします



【接続】を選択します



リンク情報が表示されます

# メニュー解説⑥：オブジェクト/リンク (1/2)

## ● 基本的な機能

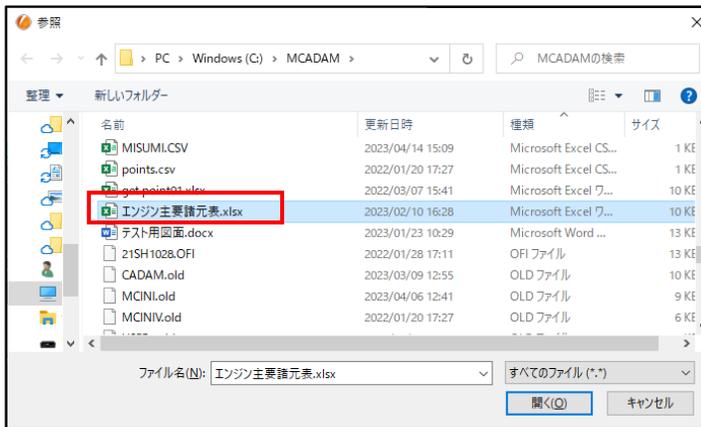
- 新規または既存ファイルをオブジェクトとして挿入できます。

### 【オブジェクトの挿入】

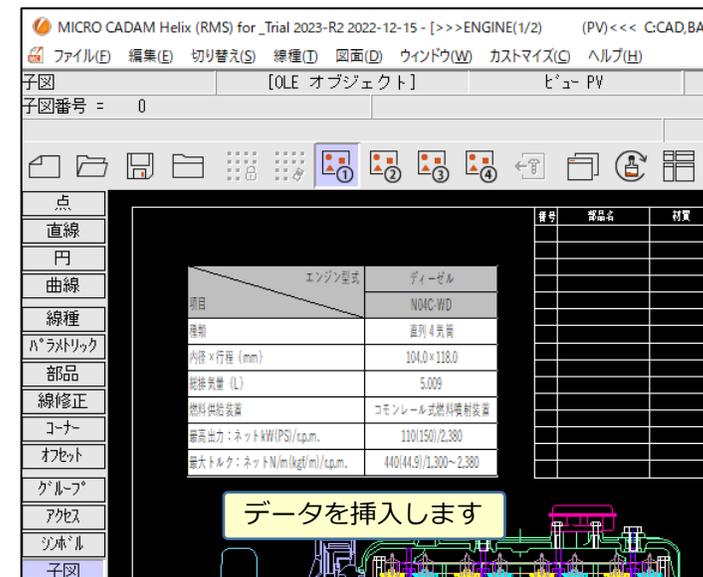
既存のExcelファイルをオブジェクトとして挿入する場合



挿入するデータの保存先を指定します



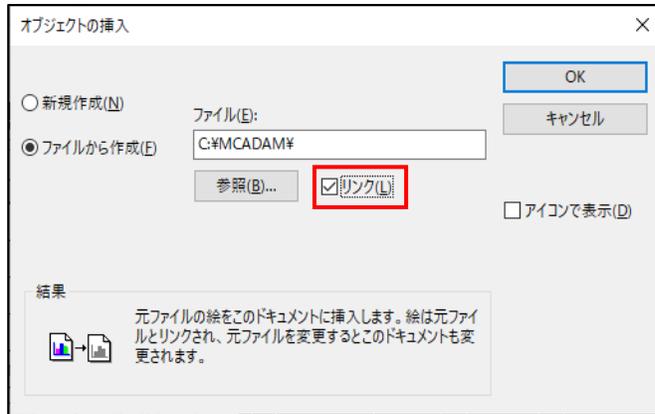
挿入するデータを指定します



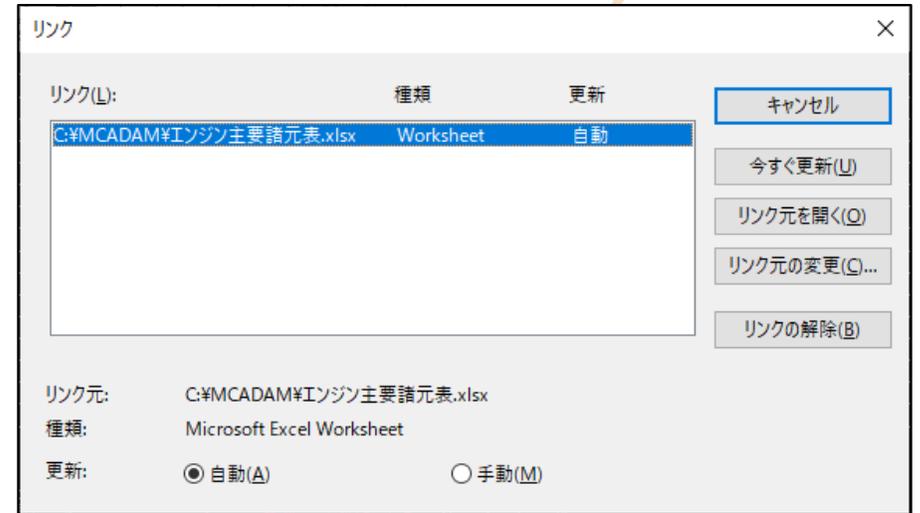
データを挿入します

## 【オブジェクトの更新】

既存のExcelファイルをオブジェクトとして挿入する場合



[リンク(L)] にチェックを付けてデータを挿入した場合



挿入したオブジェクトデータをさまざまな方法で編集できます

「リンク」がプルダウンメニューに表示されます

## まとめ：メニューバー [編集]

詳細につきましては下記マニュアルをご参照ください。

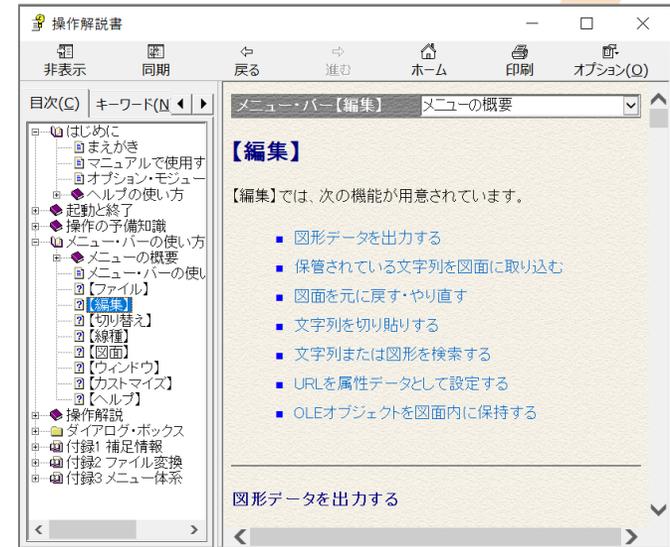
- MICRO CADAM Helix 操作解説書

- Windows [スタート] → [MICRO CADAM Helix] → 「操作解説書」  
→メニュー・バーの使い方→メニューの概要→メニューの概要【編集】

CAD'S おすすめ動画の中にもメニュー・バー[編集]の機能を紹介している動画があります。合わせてご覧ください。

- おすすめ動画コンテンツ

<https://www.cad-solutions.co.jp/movie-index/>





MICRO CADAM、MICRO CADAM Helix は、株式会社CAD SOLUTIONSの商標です。  
他の会社名、製品名およびサービス名等はそれぞれ各社の商標です。